# 滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送
報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登
一日者每行二角每登十日
行一角五分登月者每行每
日一角登長年者價當面議
從減　每張四百文

The Manchuria Daily Report Office. Newchwang. Telephone No. 29.
發行所　營口中盛街　滿洲日報社（電話二十九番）


…五吊四百文至五吊
…車三十餘輛
…共來七十餘輛
…吊九百至六吊八百

一…
一フールスカップ全　一…　四圓
一中判洋紙全　百枚　二圓
一半紙野紙　二十錢
一卷紙　四十枚續　十四錢

一筆筒　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上…
一卓子掛　六圓以上十二圓…三圓五十錢
一廚房用戸棚　七圓五十錢以上十圓

一…
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

特別廣告

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓

本店　橫濱
支店出張所　神戶　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺
電話　十番　支配人室
百八番　事務室

## 橫濱正金銀行牛莊支店

## 日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

山東丸　大沽、芝罘、門司、神戶行　三月卅一日發
相模丸　大沽、芝罘、門司、神戶行　四月十日發
橫濱丸　大沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戶行　四月五日發

## 大阪商船株式會社 營口出帆廣告

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ヘ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話廿六番）

能登丸　門司、神戶行　三月三十日發
代理店　東營口公園地橫　ブツシユ兄弟商會　遠來洋行（電話二十三）

## 瀛船出帆廣告

日之出丸　長崎、門司、大連、營口間定期船　三月卅日入港　四月一日出港
摩耶山丸　大阪、神戶、門司、大連、營口間定期船　三月卅日入港　四月四日出港
賴朝丸　同上
錦龍丸　芝罘、營口間定期船　三月卅日入港　四月四日出帆
營口代理店　松茂洋行船舶部

## 太古輪船公司

啓者本公司自派溫州牛莊兩輪專走營口登州龍口一往一來接續不斷搭客配貨均由本行碼頭上落甚屬利便水腳素來公平船上應酬搭客無不週到歷經數年遠近馳名知者稱便用登報端以期廣告

營口太古輪船公司

## 飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞此本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需

國本主人啓

## 宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印料其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋燒鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸

運輸部　運般特得官准開設火車轉運行於東西兩店幷牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚

總司理人田中賴之助謹白　電話　東店五五　西店一〇二

## 東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢彙代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥要爲合宜彙置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水腳棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷

總司理人　葉亮卿謹白

## 東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之

正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

## 西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞

本主人敬啓

## 仁裕號

保裝運各幫火輪船生意彙賣各幇洋什貨糧石等此佈

營口西大廟街路北警乙第十三號

## 生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し既に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし

營口　瀛華實學院

## 營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便玆因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白

營口瀛華實學院

## 本行瀛船

摩耶山丸　賴朝丸　專往東洋各埠

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全另有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷、

松茂洋行（電話五十一番）

## 三井洋行

電話　第六十六號　第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近恕蒙各商光顧請駕臨是荷

### 營口　發售新到洋白糖

### 倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候

（電話百二十八号）

### 經理　明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

### 發售日本白米

### 東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

## 東清鐵道　周　裕和盛運輸局

（電話八十一號）
任東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟和代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧

總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

## 營口商業學校招入學生

宗旨　造成辨公實業家
學額　五十名
學科　修身、漢文、詞章、習字、算術、圖書、地理、歷史、理化、商律、簿記、理財、商品、商業學、日語、英語、體操
資格　十五歲以上文理明通者
學費　特免惟寄宿者生自備饌費餘皆本校墊辦
入學　陰曆三月初一日
夜班　專爲有志向學而白晝忙於謀生者計每晚兩點鐘之功課授以漢文算術商業學日語以一年爲限

○欲覽各條詳細章程可到本校索閱

## 丸重洋行　貨物運輸

啓者本行前在營口臺實雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値爲貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞

電話　營口　拾八番　牛家屯　四拾六番

## 材木販賣　荒物

## 秋田洋行

本店　下關　秋田寅之輔商店
營口永世街第一八四號平野町

## 稅關手續

一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣

弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依賴ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也

絞定門街第五〇　營口英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號）
小島榮歲

## 上海　中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已經多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書精各式紙料莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售　貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也

中井洋行

## 營口青堆子　加州組

（電話八十六番）

自造　煉瓦●瓦
並に各種石材販賣

●雜貨卸小賣商　附日用食料品
●菓子製造販賣商
●委托販賣商
●土木建築受負業
●瀛車積運送業

新民府孫家街
東洋號

## 代代木烟公司

本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（撻利）百合花牌（利利）均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）淸香撲鼻佳美適口而價値極廉　諸君欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

## 永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議

西北街　東櫃（電話九十五番）
西義順棧內　西櫃（電話架設中）

## ㊂丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸

丸三洋行分莊謹啓

東京電報

●帝國議會の閉會 戰勝後第一次の議會として世人の注目を惹きたる今期議會も平々凡々の間に會期を經過し愈々昨廿八日貴族院に閉會式を擧げ西園寺首相勅語を捧讀す

●栗野大使出發期 駐佛大使栗野愼一郎氏は來月四日出發赴任の途に就くべし

●豪商渡來の増加 米國豪商の渡來者益々増加の傾向あり

●臺灣總督交迭期 臺灣總督の交迭は多分來月中旬に行はるべし

●地方官會議招集 四月二十四日地方官會議を招集すべし

●高島炭坑の爆發 二十八日朝三菱高島炭坑の一部瓦斯爆發し坑夫二百三十二名外に坑員二十四名慘死せり

●統監府開廳式 二十八日正午韓國統監府開廳式を擧行す韓國未曾有の盛況なりし

●奉天總領事の人選濟 奉天總領事の人選は已に決定濟みと爲れり

(以上三月二十九日發電)

北京電報

●獨帝と清國軍備 獨帝は清國公使謁見の際軍備の必要を説き他國に摸倣するの非を語り尚軍事上相當の援助を與ふべき旨を宣せられたりとも傳ふ

●露清協商依然遷延 露清協商依然中止の姿露公使ポコチロフは風邪の口實にて遷延す彼は滿洲軍等と聯絡を通じ密に人を派して北滿洲の礦山を測量し居れりといふ

●商部の金山調査 商部は琿春附近の金山を調査し自ら採掘し外國人要求の危急を免れんことを吉林將軍に命じたり

(以上三月二十九日發電)

倫敦電報

●勞働者賠償法の擴張案 (ハーバート)グラッドストーン氏は勞働者に對する賠償法の擴張案を議會に提出せり同案は家內に使用する傭婢及び會社商店の雇人を除くの外總て雇主の爲めに勞働する者に適用するものなり

●モロッコ會議の警察問題 アルジシラスに於けるモロッコ會議は警察問題に關して既に數箇條を決定せり該問題は佛西兩國人に警察權を與へ列國の外交團をして之れを監督せしむるの法方を以て解決を見るに至るべしとは一般に信ぜらるゝ所なり

(以上三月二十七日發電)

●英陸相と清國駐兵 英國陸軍卿ホールデン氏は議會に於て言明して曰く第一清國聯隊の解隊と同時に威海衛には一の軍隊をも留めざるべしと

●露藏相の増稅提議 露國大藏大臣は所得稅の外に煙草稅電力稅點火用瓦斯及び蠟燭稅紙稅等の間接稅を賦課すべきことを提議せり然れども砂糖稅の増率には反對なり

●加奈太國新聞の義金募集 加奈太國ゼ、トロント、スター新聞は日本饑饉地方の爲めに八千五百圓の寄附金を募集せり

(以上三月二十八日發電)

雜報

●伊藤統監の奏條 此程伊藤統監は着任後初めて參內したる際左の五箇條を上奏せられたり

一 實業の發達を圖り國力を增大する事
二 教育の進行を圖り人材を養成する事
三 軍制を整理し獨立の國防を爲す事
四 宮中府中の別を明かにし益皇室の尊嚴を加へ政府の責任を明かにする事
五 宮中の財政を整理し內帑の倍增を圖る事

皇帝陛下は一々御嘉納あらせられ統監の指揮に挨つ云々の優渥なる御沙汰ありたりと確聞す

●露國の戰費總額 露國新聞ヌロヴオ新聞は同國の戰費を計算して曰く千九百五年十二月までに陸軍省は十億八千七百萬留海軍省は一億八千萬留內務省は四千二百萬留大藏省は三千三百萬留遞信省は一億二千六百萬留即ち合計十五億八千萬留を收入せしが尚千九百六年豫算中に臨時費として三億九千五百六十三萬五千留を加へあるを以て一億五千萬留を陸軍省に入れ此金額にて戰後の始末をなす筈にて此臨時費は日本にありし俘虜に關する支拂二千萬留を含むものなりと

●韓國の借款と條件 伊藤統監の斡旋に依り韓國政府と日本興業銀行との間に於て起業公債一千萬圓借款の條約成立し此程調印濟みたるが其條件左の如し

一、金額一千萬圓(內五百萬圓本月中に殘り五百萬圓隨時貸出)
一、利子六朱五厘
一、五ヶ年据置十年間に償還
一、利子支拂五月十一月の兩度
一、擔保は關稅の優先權
一、元利支拂等興業銀行に委任

●臺灣震災地の慘狀 震災地の慘狀言語に絶えたり調査進むに從ひ被害驚くべき數に達し全潰家屋三千、半潰一萬七千八百、即死者一千百人、負傷五千人其の後時々震動し土民は皆降雨中露天にて二夜を徹す子を失へる親親なき子は道路に哭し慘澹の狀目も當てられず少し大なる建物には負傷者充滿し居れり此地方醫師少き爲め手術手遲れとなるを以て總督府は全島の醫師を送ることゝせり又斗六の鐵國山の山腹には幅三丁長さ十丁の大龜裂を生せりと

●論功行賞と陸海軍 金鵄勳章條例に依れば將官佐官尉官及び下士卒等の階級に隨ひ初敍及び進級に關する規定あり尉官の初敍は五級佐官は四級將官は三級と定めあるも戰死若くは回復の望みなき傷者、は自ら別格となり海軍に於ては尉官の初敍に四級佐官の初敍に三級將官の初敍に二級を奏請したる例尠からざるも陸軍にては嚴重に條例を守り一も超越したる敍動の奏請を行はず暗に海軍省の破格敍動を否認しつゝありたるが今や武勳調査の進行に伴ひ陸海軍に於ける敍動の權衡を論ずるも尠らず甚しきは動績調査委員以外に在て議論を交換する少壯連もあるより此事漸く山縣伊東諸將の交涉に移りしゝありと云ふ因に陸軍に於て軍司令官以上には現に功二級若くは三級を有せざるものなきも海軍は之に反し東郷大將を初め四級以上の人なれば陸軍との權衡問題は事實に於て甚だ困難なる可しと云ふ者ありあり

●清國の對米防備 桑港十九日發電に依れば直隷總督袁世凱氏は北京に達する通路に砲壘を設け新式の大砲を据附けつゝあり其口實とする所に秘は結社の運動に對する警備の爲にして且つ皇室守護の必要に出づと云ふにあるも實際は米國の清國出兵準備に對するものと推測せらるゝ旨の私報北京より當地に達したりと

●露國上院の組織 露國か今回愈々立憲議會に於て兩院制度を採るに決したるより帝國參議院を上院と爲すに決し上下兩院間に意見合せさるものあるときは兩院委員會に於て其の調和を計り尚ほ調和せさる問題あるときは皇帝自ら此れか判斷を爲すへく上院議員の數は現時參議員の三倍となり貴族中より十八人商工業會社より十二人聖教務院より六人敎會部より六人學者より六人波蘭より六人農業社會より若干人を撰出する筈にて農業社會よりの議員數は未決なりと云ふ

●發車回數增加 牛家屯なる滊車は從來其發車回數一日屢に一回にして而も夜中の事とて不便尠からさりしが今回更に午前八時二十五分に一回を增發すると爲れるを以て旅客の往來上極めて便利と爲れるのみならす滿洲內地產業發達の上にも自ら至大の關係を有すると爲るへく尚此上に旅行手續の簡易に行はるゝ樣ならは旅行者の便利は至大なるへしとなり

●日本人會推選の區長 一昨日の日本人會許議員會に於て市內各區の區長を推選せしは別項記載の通りなるが抑も今回市內の各區に新設せられたる區長なる者は在住同胞の增加と共に其の家屋亦た各所に散亂し軍政署或は領事館より論達を發したる等の時に當り其の趣旨を一般に通達する上に於て甚だ困難あると同時に論達の中には時に緊急の者あり通達の困難より急速の間に合はず爲に論達の效力を沒了するなしとせす斯くては甚た不便且つ不都合なれば各區人にて名望あり信用ある在住の同胞を選定し區長を囑托し以上の如き場合に於て區內の居住者に其趣旨を傳達せしむる事とし其他萬般の出來事に對して官民の間に位して双方の意思の疏通を料る所の機關に供するか爲にして軍政署及び領事館共相當優待する方針なりと云ふ尚ほ日本人會に於て區長と推選せられたる人々の氏名は左の如し

| | |
|---|---|
| 綏定門街區 但し青堆子を含む | 九鬼榮助 |
| 元神廟街南區 | 太田喜輔 |
| 元神廟街北區 | 佐藤竹治 |
| 豊濟門街區 | 幡內義之助 |
| 南永世街區 | 齊藤富次郎 |
| 永世街一區 | 松野綠 |
| 永世街二區 | 中村虎嘯 |
| 永世街第三區 但し二本町を含む<br>西北街區<br>重慶門街區 | 高坂景顯 |

以上の七名は軍政署及び領事館も亦適任と認め居る由なれば不日瀬川領事より改て區長を囑托するに　らんかと云ふ

●愛國婦人會委員會 愛國婦人會牛莊委員部に於ては本日午後四時より領事館に委員會を開き軍際の慰問事業併に慈善市に關する決算報告を爲し尚ほ全會剩餘金の運用方法等に付き相談すとなり因に本日は同會補助員も凡て出席する筈なり

●日本人會の決議事項 一昨日を以て開會せし日本人會許議員會は三月及び三月分の會費の取立、各區に新設せらるゝ區長の推選、綏定門街の出張所閉鎖消防組の基金引渡其他一二件を決議して散會せるは昨紙記載せる所なりしが綏定門街の臨時日本人會出張所を閉鎖せしは臺灣米拂下事務の解氷と同時に終了せしか爲なり

●遼河輸送組合の總會 昨年營口占領後間もなく邦人の手に於て經營し盛に營業なしつゝありたる遼河輸送業も結氷と同時に一時中止したる所最早解氷の時期となり各自夫れ〳〵營業をなすに就て豫め種々の協議を要する事とて昨日午後三時より日本人會々議室に於て其總會を開催し諸種の打合をなしたりと云ふ因に輸送業は昨年其筋より許可せられたる外は何人と雖も斷して許されざる由なりと

●有志者の齒科醫招聘 齒は人體中の最重要なる機關の一にして其良否は直に人體の健康如何に關すると尠からず然るに當營口に於ては未だ齒科醫として十分安んじて其治療を托すべき者無きを遺憾とし當地の飯塚長崎等の諸氏發起と爲り目下天津佛租界に於て開業し內外の信用を博せる齒科醫田添豊三氏の出張治療を乞ふの在留民一同に取りて極めて有益なるを思ひ其旨田添氏に交涉せる所多忙中に拘らず快く承諾を得來月上旬來營約三週間許マンシユリヤハウスに滯在汎く一般患者の治療に從事せらるゝ由なれば目下齒患に罹れる者は勿論平生齒質の惡しき人は此好機を逸すると無く進んで治療を受けらるゝこと最も肝要なるべしとなり

●消防組と寄附金 過日の出火に關し三井洋行及び幽永茂か消防組の盡力を非常に得とし相談の上五百圓を消防組に寄附して慰勞に供したるは當時の本紙に記載せし所なるか消防組に於ては消防の盡力は其職分なれば慰勞の爲に敢て謝禮を受るの要なし然れとも折角の厚意を無にするも亦た忍び難き點無きに非すとて其受否に付き甚た考へたる由なるか結局折角の厚意なれはと之を受くる事となし其五百圓の處分は瀬川領事と堀越憲兵長に一任せしか兩氏は組合員の意向を酌み相談の上凡て消防組の基本金に充當する事と爲したれは一兩日の中に於て瀬川領事より其旨一般組合員に通告すへしとなり

●寫眞俱樂部例會 來四月一日は第一日曜日に付盛京寫眞俱樂部は會則により午後第一時より例會を其事務所たる三船寫眞館に開き部員撮影の寫眞を陳列品評する筈なりといふ

●消防組の組合金 營口消防組の組合金等は從來凡て日本人會に於て保管せしか今回旅館料理屋業組合の申出に依り自今は同組合に保管運用せしむる事となれりと云ふ

●正誤 貴社刊行滿洲日報第百八十七號雜報欄奉天雜記の項中「郵便物の不便」と題し「當地に在留する我同胞は信書を各地へ郵送せんとするも最寄りに郵便局もなく郵便函もなく一通の手紙も一里內外ある停車場に態々人を派し云々」御記載相成候處右は事實相違し同地には從來停車場附近に設置しある第十七野戰郵便局の外本年一月廿六日より更に城內(小西邊門內)に第廿四野戰郵便局を開設し普通人民發受の郵便物をも取扱居候右の記事は恐くは其以前の通信に據られたるものと思量致候も一般公衆の誤解を避くる爲め本文貴紙上に御掲載相成度此段及請求候

三月廿七日 關東總督府郵便部

滿洲日報社御中

●東西南北 ▲今度落成した帝國圖書館は建築費三十二萬圓で圖書館として世界最新式なる者の一のさうぢやか其藏書が三十萬翅に東京帝國大學に及はぬのみならす之を歐米の圖書館に比したら月下の燈光であるが併し日清戰役日露戰役の恰も紀念であるかの如くに斯ういふものゝ出來たのは愉快である▲此程西園寺首相邸で松本キミヒラの歸朝祝を兼ねて高襟黨懇親會をやつたさうぢやが會する者竹越與三、横井時、山梯、望小太の面々で杯盤の間得意の大風呂敷の共進會であつたが同臭の間であつたのでヘドを吐くやうな者の無かつたのは仕合せであつた▲墨西哥で此程或一人の富豪が同國の國債三億圓を返却せんとを申出たが其男は五年前に鑛山の勞働者であつたが今は彼が所有の鑛山から年二千萬圓の收利があるさうぢや戰爭で火事塲泥棒のやうな事をやつて僅か一二萬の金を羸ち得たとてお大盡振て女に貢ぎ込むやうな人種は愧死すべきである▲ステッセルが今度軍法會議の審問を受けた時に證人として乃木軍の參謀官數名を喚んで勇悍に防戰したと人道の爲めに開城したとを聽いて吳れと申し出たさうぢや生命迄赦してやつて其上そんな世話迄燒けると思ふて居るのが面白い

投書かご

▲余は昨紙馬城の滿洲經營の一節を閱して轉た憂愁に堪へんのである酔を醒すまでもなく素通十遍十指の屈するを俟たざる大商店を除き去れば倶に滿洲經營を談ずる者果して幾人かある大さくは是同志打小武者にあらずんば、肉切賣業に等しきに至つては浩歎久しうせさらんと欲するも得ず馬城翁意を安じて可なり(牛小屋)▲○月亭の勝子さんは本年取つて十七なる未だ花の蕾にて當節に例せば所謂彼岸櫻とも云ふ可き芳香馥郁たる眺花にして滴る許りの愛嬌を以て客座を賑はす等恰も誤姥手腕家とも謂ふべし然るに他に缺點なきも惜しむべき哉華客に接するに些細の巫戲談にも怒りを表はさんとの噂(北國屋しま子)▲當營口に義太夫の妙音を傳へし源之助は去れり在留邦人中に斯道の後繼者なきか大に唸つて攝津大椽の養子たらんと欲する師匠は自ら滿洲日報に出頭を望む(義太夫喝仰者)▲或女に答ふ拙宅は材木商で主從四名外に支那ボーイ一名居る事故別に大した仕事もない唯三度の食事を清潔に賄ふて貰へばよろし姓名在社詳細は面談(炊事男)▲投書籠の或女に告ぐ營口第一繁昌の地に蟄居して居る炊事男ですが貴女の住所目的を聞たし(獨身生)▲小生は惡口不得手の者なるが滿月樓の散財料の高いのには實に驚いた藝者が一時間半と肴が少々と酒が八本で勘定が十圓五十錢だそれから沈沒料が十二時過になるにも係らず七圓朝は八時から又二圓とられて驚入り(候生)▲市場にチボが澤山居るのは其筋に御存知ありませんが(被害者)▲祇園閣の某妲さんは昨日營口病院から歸り途東京樓支店の前で人力車にヒツクリかやされて餘程滑稽であつた(實見生)▲永世街喜久洋行の食客殿よ少しく自身の位置を考へ食客は食客のようにし給へ今迄の如く威張り散らかして主人然とは餘り面白くない敢て忠告す、親友の一人)

●邦人馬賊に狙撃せらる(遼陽) 近來滿洲內地に於て馬賊頻々横行し良民に危害を加ふる事は屢々耳にする所なるが苟も我軍權の下に憚らす横行するに至つては實に憎みても尚餘りある三四日以前の事なりき當地材木商鹽川商會の遼陽支店へ突然數名の馬賊侵入して店員二名に發砲し重傷を負はしめ金錢を奪ひ去れりと云ふ今其模樣を聞くに前記支店に於ては主任者梅谷某と店員石田某等夕食を終り雜談中午後十時頃數名の馬賊手に〳〵銃を持ち門戶硝子板を蹴破り侵入し無暗に發砲して終に石田は左首より右に懸け重傷を負ひ尚腕に一發を受け人事不省となり又梅谷は胸部を撃たれたるも辛して逃れ其間に金錢を奪ひ去られたりと因に兩人共今は同地の兵站病院に收容せられ居るも生命には別條なしと不幸中の幸と云ふへし

大連 車 ▲上行車時刻表 ▲下行車時刻表 税關手續 日本建家屋

小説

新作小説 **おとし風**　德田秋聲

（二十四）

また逢はれるか、逢はれぬか。何んといふ心細い疑であらう。設逢はれるとしても當分は逢はれぬ。何んといふ情ない斷定であらう。そて光は、急に健三が懐慕しくなツた。自分にも不思議に思はれる位懐慕しくなツた。

「健三、何處にゐるだらう。逢ひたいわ！」

これは、光の心の底から出た本音である。

其の健三は、今何處にゐるか。彼の巨漢に預けられた秘密の手紙を持ツて何處にゐるのであらう。あはれ彼は、晩景に逢ふといふ約束を固く信じて、光が今、小御門村を去らなければならぬ破目に押付けられてゐるとさへ知らぬのである。思へば運命程不思議なものは無い。

「何うかして逢ひたいわ。探して見やうかしら？」

探したとて逢はれるか何うか解ツたもので無い固より探してゐる時間とても無い。

一里二里なら傳馬で通ふといふ俗諺があるが、それてそ傳馬で通ふだけの道程も隔ツて居らぬ健三の家は、つい村の端にあツて、健三は、遠くも半里とない處を草を刈ツて歩いてゐるに違ひない。それでも運命なら逢ふことが出來ない。

更に詮議をすると、光は知らぬけれども、ざツと三時間ばかり前に健三は、此處へ來てゐた。而も光の蹲踞むでゐるところに蹲踞むでゐたのだ。そして光の小さい胸の惱を去らせる爲に、自分の「我」を捨てゝ、祖父樣の世話を引受け、安心して上京させるやうに決心したのであツた。

光は、有難い此の健三の決心を知らぬ。知らずに、今朝荒馬を取鎭めて、自分の危難を救ツて呉れたことを思出し、禮の言方の足らぬことなどまで考へて、思ひ綿々として盡きぬ有樣。彼女は「健三が、孃さんが、俺のことをえらい者になると信じてゐて呉れたら、俺は乾度えらい者になる。」と謂ツたことなどを叮嚀に繰返して見て、宛然に夢を見るやうな心地になツてゐると、不意に後の方に急々した人の足音。

「孃樣、孃樣。貴方何をしてござるだね。何の位探したもんだかさ…………さ、さ、疾く家さ歸ンなさろ！　先生樣えらく心配してござるだ…………荷物も何んも、すツかり支度が出來て發足ツしやるばかりになツてゐるだに！」

と噛付くやうに喚く。それは探しに出た近所の者の一人。

光は、脅かされたやうに立起ツた。

「然うかえ、もうお正午過ぎて？」

「過ぎたどころでねえ。はア、彼是一時になるだ…………だもんで、那の東京から來た人が氣を揉みきツてござるだ。」

此う謂はれると、光の心は妙に慌て出す。

「然う、それでは直ぐ歸りませう。」

彼女は、急々と歩出した。歩きながらも尚健三のことを考へてゐた。何うかして歸る途中で逢へたらばと思ツてゐた。そして時々其處らを見廻した。雖然健三の影さへ見えなかツた。

それで、ふとすると逢へるかも知れぬと思ツたことも空頼。何時か門まで來て了ツた。光は吻ツと歎息した、それでも尚だ一縷の望が繋がツてゐる。

「健三は、此の騷を何處かで聞いて、家へ來てゐるかも知れない。何うかして來てゐると可いけれども！…………」

と考へながら、光は大急で家へ駈込むと、玄關のところに祖父樣を始めとして、合田、それから近所の者。ごろり頭を駢べて突ツ立ツてゐた

健三はと見るけれども、此處にも影も見えない光は落膽して、千仭の谷底へ突落された心地。

而ると合田は、憤々した聲で、

「孃さん、何處へ行ツてゐらツしやるのです。此う氣を揉せなすツては困るぢやありませんか。もう二時になりますぜ、二時！　さゝ直に人力車にお乘ンなさい。餘程急がないと間に合ひません。」

「私倘だ少し用があツてよ。」

と濟まして謂ツた。濟ましてゐるのでは無いが光は精一杯智慧を搾ツて、出來るだけ出發を遲くしやうといふのである。何うかして健三に逢ツて行かうといふのである。逢ツてたツた一言謂ツて行きたいことがあるのである。雖然名月には曇が多い！

□□□

●鹿爪錄　日本では新聞事業が餘程發達して來た結果其編輯も非常に秩序立つて整頓するやうに爲つた中にも大阪朝日の如きは最も整頓し秩序立つて居るやうである▲勿論記事の配置丈けは稍ゝ雜駁であるが文體から文字の遣ひ方から振假名がチャンと一定して居る支那の各省の如きも皆「せい」と振假名をつけ組織といふ文字の如きも「そしよく」とつけてある此の如きは他の新聞には無いのである露國の地名人名等も大抵は原音の通りに出來て居る▲併し此に大阪朝日獨特の書樣として腑に落ち無いのは浦鹽斯德を烏拉西保斯德と書くのである浦鹽斯德と書くの無意味なるは勿論であるがそれを烏拉西保斯德と書くのも可笑な書き振りである▲浦鹽斯德を最も正確に邦語で表はすならばウラディウォストークである即ち露語ウラーディカ(領有者)とウォストーク(東)との二字から成つて居るのである故にそれを漢字で表はすならば烏拉地俄斯德克である朝日の如く西保と書くのは漢音を以て表はしたといふ譯でも無く又日本流に書いたといふやうにも見えぬ畢竟浦鹽斯德を萬葉假名で引延ばした形がある殊に或場合に於ては單に烏拉西保なんかと書くのは最も其意を得ないやうに考へらるゝ(口山生)

待戀　黄雨
きえわびて待つ身はくらき燈火の
戀に思ひを搔き亂すかな

同　東村
そよと吹く風も心にしみわたり
更けて待つ夜ぞ淋しかりける

同　露月
柴の戸を叩くいなにはかられぬ
待身は胸のさゞなみやして

同　耕南
通ひ路をふみまよひしか夜もすがら
待ち戀ふれどもおとさたもなし


廣告

## 告示

三月廿二日第四回懸賞捕鼠抽籤執行したる結果當籤番號左の如し

當籤者賞金受領に付左の通り心得可し

一、當籤者は四月五日迄に衛生局に至り當籤札と引替へ現金を受領す可し

二、四月五日を經過するも尚賞金受領の爲め衛生局に至らさるものは其當籤効力は消滅す

三、賞金額

一等　銀五十圓　二等　銀十圓

三等　銀二圓　四等　銀一圓

三月廿二日第四回抽籤懸賞捕鼠競章程列左

一、當籤者於四月初五日以前持原籤赴衛生局領賞過期其原籤即消廢無用

二、賞銀額

一等　銀五十圓　二等　銀十圓

三等　銀二圓　四等　銀一圓

第四回捕鼠抽籤當撰番號

一等　二等　三等　四等

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一五九三 | 一五八〇 | 二三四七 | 二〇九四 | 二二九三 | 二一九五 | 二五一一 | 二六五五 | 二五一七 | 一一九八 | 二六〇八 | 二一八三 | 二四六八 | 二一〇五 | 一三六〇 | 二六〇二 | 二六五三 |
| | 二四七五 | 二三一七 | 一七一三 | 一八九七 | 二四二三 | 一三二八 | 一七〇五 | 二〇八三 | 二四二二 | 二一三六 | 二五四二 | 一六六六 | 一六一九 | 二一四九 | 二二〇七 | 一七四一 |
| | 一七〇七 | 一四四七 | 一三八三 | 一六五七 | 一九三六 | 一九〇九 | 一三四五 | 二一六三 | 二二八〇 | 二九二八 | 一四七三 | 二五九一 | 一七四九 | 二二二三 | 二四八六 | 二五〇三 |
| | 一四四一 | 一四五〇 | 二〇八五 | 一七六八 | 二三九三 | 二一四二 | 一七四四 | 二二〇五 | 一四〇〇 | 二一八一 | 一三九二 | 一〇〇五 | 二九二三 | 一六二二 | 一九八〇 | 二四五八 |
| | 一七二六 | 二二八九 | 二五一〇 | 一九九〇 | 一七二〇 | 一九三〇 | 一二八三 | 二四〇九 | 二五五九 | 一四九二 | 二二四四 | 一五三八 | 一六〇五 | 一六四八 | 一五七五 | 二二九七 |

## 廣告

齒の衛生治療は一日も等閑に附すへからす然るに當營口に良齒科醫無きは予輩の最も遺憾とする所なるを以て今回二三有志相謀り目下天津佛租界に於て開業し内外人の信用を博並べる齒科醫田添豐三君の出張治療を乞へるに快諾を得來月上旬より本埠マンヂウリヤ、ハウスに於て約三週間許治療に從事せらるゝを以て齒患に艱やまるゝ諸君及ひ齒の衛生を重んせらるゝ諸君は此好機を逸せず續々治療を受けられんことを望む尚同君來營の期日は重ねて紙上に廣告すべし

三月三十日　營口有志者白

## 大阪商船會社荷客取扱所
## 内外船舶代理店　船舶貸借仲立

水陸輸送貨物仲次　艀船人夫運搬請負
輸出入稅關手續　倉庫業
諸品委托賣買

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候滊船御乘船之御方樣は御一報次第切符持參仕候尚御手迴り貨物持運ヒ等當店送迎組ニ御用仰付被下候ヘヽ迅速確實ニ御取扱可申上候

西北街　德重洋行

## 満洲商家名鑑發行の趣旨

満洲商家名鑑は滿洲各地に散在店舗を構えて業を營む本邦人を普く網羅し且つ著名商店の現況を仔細に描寫店主若しくは主任者の閲歷性行等を詳錄し汎く之を紹介し以て商業取引の圓滑融和を圖んとするにあり製本体裁は菊版本綴表紙總クロス三百餘頁とす

一部定價銀二圓

一寫眞廣告料　二十圓　普通廣告料十圓

一特別廣告料　二十圓

右發行人　安齋源一郎

◎滿州商家名鑑原稿採集の爲め馬島音三郎を貴地に派遣いたし置候間同人御伺ひ致し可申恐入候得共相當御便宜御與へ被下度伏而乞上候也

滿州商家名鑑發行人　在大連　安齋源一郎

營口各位

◎營口商家案内地圖編纂

右は滿州商家名鑑附錄として發行可仕尚製版印刷の上は特に一葉貢も可仕候也

廣告料　實六圓

同地圖に廣告なさんと欲する諸彥は營口元神廟街二三三鵜澤商店方馬島音三郎迄御申込を請ふ

## 法律事務所の開始

生儀前ニ判事幷ニ地方法院長等の官職に歷任し及び辨護士の職務を行ひしこと多年今般民刑訴訟の代理刑事被告事件の辨護訴訟事件の鑑定契約書起案法律顧問等總て法律に關する諸般業務の依賴に應ず

營口永世街金城館南隣り

**小林法律事務所**

從七位勳六等　小林一生

○但し應接時間は午後四時限り夜分の面會は絕對に謝絕す

西門外大通　鐵嶺

御旅館　**福屋**　御料理

## 森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時

一往診　午後三時より

△一般者の入院治療を諾す

△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄

姙婦の入院を諾す(取扱主任産婆大道しげ子)

院主　森孀

醫長　鈴木昌平

營口永世街　(電一五五番)

このわた新荷着

大原洋行　營口永世街第二八號

## 料理部開業披露

弊館是迄旅館專業に御座候處今般新に料理部を開設し聊か紳士諸君の御引立に報ひんと存候就ては座敷向き等も凡て改築仕日本式の粹を拔き藝妓仲居も弊店付として內地より二十五名計り呼寄せ特に料理は東京有名の厨士を聘し材料に乏しき當地にては不可得珍味佳肴を供すべく一切の準備相整愈ゝ本日より安直を旨とし開業仕候間何卒賑々敷御來遊の程偏に奉希上候

追而料理部開業と共に旅館部にも改良を施し御客樣の御便利御計可申候間不相變御引立の程願上候

旅館　第一營口ホテル

料理　第一樓　(電話八四)

上海(電話一〇六番)

御旅館　豐陽館

日本郵船會社荷客取扱

歐米滊船乘船取扱

館主　米田藤吉

和洋御料理　會席

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又餘興等は特に割引大勉强仕候

營口永世街二本町　日本館　(電話百三十)

各位樣

東營口郵便局東隣

島田洋服店

新民屯停車塲前

同支店

支那料理

満月　(電六二)

満月支店　(元鄕樓跡)

來る四月一日の日曜日より午後毎日曜日の禮拜を午前十時(營口時間)より開會可致候に付此之段廣告致候也

軍政署官舍東カルソン師邸內

日本人基督教會堂

三月三十一日より三日間春季大祭典執行仕候間繰合御參拜相成度此段廣告候也

永世街二本町

皇大神宮社務所

雜貨 すし米
醬油 清酒 大樽 半樽
木炭

營口西北街
阪神組

CARTRIDGES.

We have just received a large assortment of Sporting Cartridges for 8, 10 & 12 bore Guns which we are prepared to supply at moderate prices, cash with order.

Apply to,
BUSH BROS.

獵銃彈新荷着
第八、第十、第十二號獵銃彈新荷到着廉價にて販賣致候間多少に拘はらず御注文被下度候
但貸賣一切御斷申候
ブッシ商會

本家 日本東京神田鍛冶町 堀内大藥房
淺田飴 あさだあめ
肺癆痰喘氣急傷風猛嗽小兒風猛病後體弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥
有名賣藥醫藥醫科器械卸小賣
永世街 東瀛大藥房
房主 藥劑師中馬龍造

Yano & Co.
矢野洋行
電話一三七 Telephone No. 137
諸雜貨、家道具類、吳服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々
今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候
謹言
清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉
(電話一三六番)

發賣 料木 標子 木板
鹽川商會
遼陽小西門内 鹽川商會
建築用材北海道産松大角(自廿五尺至三十尺)二万立方尺餘
外に電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

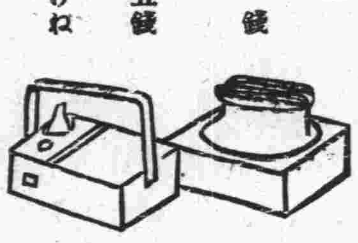
醇良自釀清酒

札幌ビール
朝日ビール
口付莨大和
酢醬油瓶詰樽詰
菓子罐詰色々
洋酒類
右取次販賣
牛莊港東營口
宅合名會社
營口支店

大日本東京
本舖 山崎帝國堂葯房處修
腦丸
天授
天授者天下多多有咳嗽藥中之冠也たんせきねつさましの一切の妙藥
腦丸者天下唯一之腦病靈藥也腦病の名藥にして他に類なし
大清國
營口大街(永世街二本町)
藥司洋行 淺野爲三郎
藥劑士
福壽堂 大葯房
醫械藥材 有名靈藥 總發賣處
總批發處

大連市信濃町卅九號地
旅人宿 東館
特別ト親切ヲ旨トシ且ツ廉價ニ御取扱可申候

廣告
組合規約追加
組合員にして其内外を問はず妨害又は損害を加へられたる時は其旨事務所に屆出べし此の場合に於て事務所は直に役員の審議に付し果して屆出に相違なきときは之れを新聞紙上に廣告すると同時に組合一般に報告す組合員は其者と取引をなす事を得ず
右今般組合總會の決議に因り追加條項として相加へ候條及廣告候也
年月日
營口材木商組合

御手輕料理
一釜飯御一人前 銀五十錢
一湯豆腐一鍋壺 銀二十五錢
一突出しの外は御注文なければ差上不申候
月日
營口元神廟街二〇九號

翁亭

大日本政府特定
營口付紙捲煙草
滿州一手輸入發賣
營口元神廟街四十號第二號
江副洋行
營口永世街

石材、碎石
並に自家製造
瓦、煉瓦
廉價販賣
營口永世街七十號(第二市場東)
順吉洋行

軍隊用雜貨
日用品雜貨
吳服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類
卸小賣
其外新荷着精々安價販賣
石原商店

官製口付莨、文房具
和洋酒類
罐詰、菓子
藥品、雜貨
醬油瓶樽詰
防寒具、安價販賣
白米 卸商
營口西北街
十一
豐生洋行
(電話十三番)

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 東京樓
店主 熊田兼次郎
(電話百七十八番)
御席和洋料理 東京樓支店
(電話四十四番)
西洋料理仕出し御需に應ず

質屋營業
精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口南永世街憲第三十六號
北斗洋行質屋部

奉天日本旅館
瀋陽館
家屋宏壯清潔
接待優遇懇切
開放全時一開業
奉天小西門外ナ条路北

御旅館
天津
芙蓉館
駐屯軍御用
並西洋料理

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.

Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

## 宮門抄

三月初一日

外務部 欽天監 侍衞處值日無引見 吏部呈進月官卷 朱有基卓李復 伺候 召見

召見軍機 朱有基 卓李復

外務部遞封奏二件 學部遞封奏三件 練兵處 劉汝驥 各遞封奏一件

初二日

商部 鑾儀衞 廂黃旗值日無引見 江南總兵鄭國俊請訓

恒安請假十日 李士珍請假三個月 魏震載林伺候 召見

召見軍機 魏震 載林 鄭國俊

商部 王步瀛遞封奏各一件

## 上諭恭錄

三月初一日奉

上諭山西大同府知府員缺着翁斌孫補授欽此

上諭學部奏請將教育宗旨宣示天下一摺自古庠序學校皆以明倫德行道藝無非造士政教之隆未有不原於學術者即東西各國之教育亦以無人不學爲歸實中外不易之理朝廷銳意興學特設專部以董理之自應明示宗旨俾定趨嚮期于一道同風茲據該部所陳忠君尊孔與尚公尚武尚實五端尙爲握要總之君民一体愛國即以保家正學昌明翼教乃以扶世人人有合群之心力而公德以昭人人有振武之精神而自強可恃務講求農工商各科實業物無棄材地無遺利期有益於國計民生庶幾風俗純厚人才衆多何患不日臻上理着該部即照所奏各節通飭遵行所有京師及各省學堂師長生徒尤宜正体清源辨明義利不視爲功名祿利之路而以爲修齊治平之規於國家勸學育才之意方爲無負該尙書侍郞等惟當整躬率屬行必踐言切實提倡認眞查核懍時局之艱難思全國之關係朕心惓惓實有厚望焉餘着照所議辦理欽此

初二日奉

上諭奉錦山海關道兼按察使銜着梁如浩補授欽此

上諭奉錦山海關道文韞着開缺以五品京堂候補欽此

上諭江寧將軍永隆由外火器營額外藍翎長于同治初年調赴奉天打仗出力積功荐升副都統擢任江寧將軍改練新操創辦學堂各事克盡厥職茲聞溘逝軫惜殊深加恩着照將軍例賜邺任內一切處分悉予開復應得邺典該衙門查例具奏准其入城治喪伊子一品廕生立堃着俟及歲時由該旗帶領引見欽此

## 東京電報

●**日本議會告竣** 日本帝國議會已經於西三月二十八日告發即舉行閉會式於貴族院聞 日皇嘉尙貴衆兩院議員之勤勞定於月抄賞賜酒饌云（三月二十九日發）

## 倫敦電報

●**受領戰艦委員到英詳聞** 日本受領新造戰艦委員並水兵等到阿爾波多船廠之後更抵達嶺烏以取府大受歡迎倫敦市長亦招請該委員並駐英日本大使館員及英國海軍武員於其官邸午餐聞受領委員之始到英國也英皇妃下優旨於中外水兵協會云日本水兵忠勇無双今也不憚萬里破風濤而來我邦須待以優遇勿令我歡迎之意致歸水泡按中外水兵協會卽當接待日本委員等一次之任者也而首相巴君亦致電該協會云此次歡迎武勳赫濯之日本海軍代表者亦即我英國所榮請爲我傳敬意云云並聞日本水兵等又抵聖波爾寺院謁涅爾期之墳到處皆受歡迎云

●**日英銀行之設立** 設立日英銀行之議刻已決定其資本金計二千萬圓云（以上西三月二十七日發）

## 中外要聞

●**調查各省教案** 昨兩面諭軍機大臣務將近日各省教案尙未議結者一並開單進呈並將各省有關教案電奏作速彙奏詳核辦法又聞內廷人云日前江督來一電奏係爲條陳南昌教案軍機大臣入奏遲隔一日 皇太后大爲不悅面加申飭一次並諭以後無論何項電奏均着隨時呈覽

●**西藏要電** 聞政府王大臣會議前接駐藏大臣來電英人因地方事宜屢有挾制之意若與衝突恐與邦交有礙否則遇事牽掣有滞主權請核示辦理等語查駐藏大臣職分較卑未免外人歧視應俟藏約議定所有駐藏大臣一缺即宜奏請改揀派將軍一員前往鎭攝以崇體制云云

●**庫張鉄路辦法** 政府電致直隷總督速將張家口至庫倫鐵路即行勘丈修築其應需款項除在關內外鐵路餘利項下提撥外所有不敷之處惟飭移緩就急之法電商核辦等語又日前胡芸楣侍郞至慶親王府拜謁聞係爲修築庫張鐵路之事請慶示知籌款之策若不早爲修築難免俄人窺伺而致政府增添交涉云云

●**電覆美使** 昨聞外部照覆美使謂貴國俟將華工約條宣明本部再行電致南洋大臣開禁抵用美貨貴大臣知有開議確期仍希知照本部以便電達南洋大臣等語

●**三次會議教案** 外部最近消息法公使至署與堂憲三次會議南昌教案謂各省入主教堂均有電報告各紳甫以南昌教案肇禍在前中國官兵保護不力懺他省教堂別起風潮再蹈覆轍法敎士吃虧甚鉅應請貴部依允法國自向各省教堂地方派兵保衞免致另生交涉云云

●**電查吉江要公** 聞外部人云唐侍郞日前與俄公使晤談黑吉二省林木魚鹽均被俄商把持請公使電知貴國兵官商人等退讓華人自辦等語俄公使答以此項產業係貴國商民寶與俄國並非俄國強佔貴國產業云云唐侍郞回署已電致黑吉二省將軍照俄使問答之詞請達程二將軍查明電覆

## 雜報

●**流賊累弟** 通利橋北居民某甲不務正業年前曾盜其同里李姓健騾賣於邊外車戶李知之而未舉發前月復盜五壘子李姓一騾賣於石橋子某店被李尋覓向保實騾者將甲究出於是後李與前李同時赴署鳴狀拘甲到案一鞫承認惟甲之胞弟現充巡捕軍憲爲責甲弟謂其倚勢盜賣該弟職司何事不預爲防範咎無可辭此時甲罪未完先判罰乃弟土工三年爲巡捕者宜知所警矣

●**汽車被刦** 本月四日大石橋執路早車開向卑來一車生客三十餘名有五盜混跡於內正當飛駛之際二盜各持槍双牢把車門三盜搜刦諸客盖預知一客帶有手票數百元由旅順來以刃脅逼出現甲答以無怒戳甲臂二孔遂於短禍中搜出然後徧搜諸客統刦手票千餘元呼嘯一聲躍下執路遁去

●**卯後會水** 本年今春會水銀逐次跌落實因指日即可至卯變爲現銀故爾茲乃已過三月一卯凡係爐銀須再届六月一卯方能變現其期限已長是以昨日會水銀開行陡漲向滬上會水千兩給收主加色七十八兩向天津會水千兩給收主加色一百三十四兩向潘陽會水給收主加色一百二十三兩向寛城子會加色一百一十兩向吉林會水加色一百十五兩向錦州會銀一錠加色七兩二錢現銀一錠加色七兩五錢云

大日本關東總督陸軍大將男爵大島　爲

剴切曉諭事照得目下和局已成地方亦歸平靖雖然撤兵未終軍務尙要緊嚴即此訂定軍律各條合行出示爾等闔鄕民人一體知悉自示之後倘有敢犯按律嚴辦決不寛假本總督言出法隨其各凜遵勿違切切特示

### 關東總督府軍律

第一條　凡犯左開各項者按其所犯之情節照本律所訂罰項處辦（一）探悉軍務機密事項又收集文書繪圖物件等或偶知其事項獲其文書繪圖物件等以傳說交付之於他人且行公示者（二）將堡壘砲臺及所有防備造作物等私行蹈測繪圖或拍照者又記取其情形者（三）未經允准又將詐僞之行爲經允准而擅入堡壘砲臺及所有防備造作物等者（四）在要塞附近劃定地域內敢犯其所示禁例者（五）對軍人軍屬行公務者擅加暴行或抗拒侮辱者（六）將軍用房屋船隻火車執路電綫電桿等擅行毀壞或燒燬者（七）將槍械子藥衣糧及所有一切軍事物件等擅行毀壞燒燬或盜竊者（八）僞造日本帝國所頒行圓銀鈔票軍票及錢糧各單等或敢爲知情行使者（九）妨碍軍用運輸通信交通等者（十）將違犯本律者擅行窩匿庇保或敢行放逃刦奪者（十一）其他敢加危害於軍人軍屬及軍隊或有妨碍安寧之行爲者

第二條　使唆他人而敢犯本律者併幇助犯人者均照本律處罰又欲犯本律而未遂者按其犯情亦同罪

第三條　分別罰項作死刑監禁追放杖及罰銀

第四條　死刑則將槍斃或斬首行之

第五條　監禁則十日以上拘禁牢獄又有時從事苦役

第六條　追放則放逐所定地域外不准於限定期內再入其地域內

第七條　杖則一百以內

第八條　罰銀則一圓以上限期繳清若有滯納者則將監禁或杖換之其例將一圓換監禁一日或杖五

第九條　監禁以下之罰項則得併行

第十條　連犯二項以上者併行其罰項或依照較重罰項處辦

第十一條　犯人所使用之物件及所犯而獲之物件有時行押收

第十二條　改悛之情認爲顯著者併情節應要斟酌者無論其既行處辦否將其罰項即行輕減或放赦

附則

本律自明治三十九年四月一日起施行明治三十八年七月十九日遼東兵站監所訂軍律則於施行本律之日作罷

右論通知

明治三十九年三月　日

NEWCHWANG, FRIDAY, MARCH 30, 1906.

### A Kindness That Is Not Wasted.—(Part II.)

The particular bone of contention between our two Tientsin elders seems to hang on the point that the Japanese lie at the bottom of the smouldering anti-foreign movement now apparently prevalent in China, and not.

None of the foreign residents in the interior of Manchuria, all connected with mission work, have yet brought against us a charge of the alleged nature. As to matters at the cosmopolitan Newchwang which is still under Japanese administration, the "China Review" ought to be kept in touch with them, through a special correspondent or two it appears to have here. Has anything been communicated to support its favourite canard? If so, nothing of the kind has yet been produced in its columns. With regard to things transpiring Tientsin and Peking way, the gifted Editor is looked up to by us as a source of enlightenment, but not of misinformation, of which we have had quite enough.

In an editorial under the heading "Smuggling of Arms by Japanese Agents," in the issue on the 14th inst., he has sounded the most serious alarm, saying, "*Japanese agents are busy preparing an insurrection* outside the wall, by smuggling large quantities of arms and ammunition there."

In his excessive zeal to make the best of a very bad case in hand, he has cited a solitary instance of a "a Japanese who was caught right in the capital in possession of 500 magazine rifles and 50,000 rounds of ammunition in attempting to smuggle arms and ammunition there," filling up the almost painful gap in his assets with an ominous foreboding, "And this *is not* the only case, as time will show." But the unobliging time has so far thrown up nothing more of like disclosure.

Conceding the truth of this *only case*, only a madman's vagary could put it down as a preparatory step for an insurrection in the very heart of the best-guarded Chihli of all points in China. Whatever showing can 500 rifles with 50,000 rounds of ammunition make in the hands of a mere rabble against tens of thousands of the pick and flower of the Chinese Army stationed within short call? And then, would the fine arrays of the foreign garrisons at Peking, Tientsin, and elsewhere sit tight and look on when an outbreak took place in their midst?

We understand that, chiefly owing to the much stir attendant on the opening of the port and partially to the late hours kept by many at last night's dance, the 8th debate intended for this evening at the Assembly Rooms has been voted "off" by common consent.

The kindly elders who have engineered the periodical sessions through the winter more for the benefit of the junior members than for their own enjoyment, could not have spent those evenings for no worthier purpose productive of substantial and wholesome results to the younger participants.

We cannot recommend too heartily the resumption of the enterprise with fresh arder as soon as next winter closes a trade year promising at present unheard-of prosperity, and liberates both mind and body from business care for another well-earned season of recuperation.

The "Tungshing" arrived late Wednesday evening with Messrs. F. Farmer and C. G. Bush among the passengers. Mr. H. A. Bush is reported to return in about a fortnight.

The "Dagmar," Norwegian' from Tientsin also put in soon afterwards with 600 natives on board. Mr. Shaw, the Tientsin architect, came to the port on business by the same steamer and will stay till about next Sunday.

Yesterday's Tokyo wires state that, at the closing ceremony of the Japanese Diet yesterday, the Imperial message was read by Premier Marquis Saionji. An explosion occurred on the 28th inst. at the Takashima coal mine near Nagasaki, killing 232 workmen besides 24 others.

(Mar. 27, 1906).

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| JAPAN | Bank T.T. | 100 | LONDON | Bank T.T. | 2/-3/8 |
| | " Dem'd | 100 1/4 | | " De'd | 2/-7/16 |
| | P'ate 15 d/s. | 101 | | Cr. 4 m/s. | 2/1 1/16 |
| SHANGHAI | Bank T.T. | 71 | AMERICA | Bank T.T. | 49 1/2 |
| | " Dem'd | 71 1/4 | | " Dem'd | 49 3/4 |
| | P'ate 15 d/s. | 72 1/4 | | Cr. 4 m/s. | 51 1/2 |
| TIENTSIN | Bank T.T. | 102 3/4 | | | |
| | " Dem'd. | 102 1/2 | | | |
| | P'ate 10d/s. | 101 1/2 | Bar silver | - - - | 30 3/16 |

## 發行時刻

| | | |
|---|---|---|
| 山海關至天津 | 上五、○○ | 下五、五五 |
| 唐山至天津 | 上六、一二 | 上一一、二八 |
| 塘沽至北京 | 上六、○○ | 下一二、○六 |
| 天津至北京 | 上一二、○○ | 下五、二○ |
| 山海關至北京 | 上八、[illegible] | 下六、四五 |
| 天津至唐山 | 上一一、四二 | 下五、一七 |
| 天津至山海關 | 上六、二五 | 下六、二一 |
| 唐山至山海關 | 上六、○○ | 上一一、五八 |
| 山海關至營口 | 上七、○五 | 下四、五五 |
| 溝邦子至新民 | 上三、○○ | 下六、五七 |

一、…引換書御送附ニ相成レハ諸…換ヘ配達致…ハ保管可申候
市場北三階樓時計店ノ二階
宮原公司
永安街二本町二六九
楠屋
其外鑄物諸般…材料
門會街東
喜場報

氣溫 昨日の氣溫 最高溫度五十三度一 最低溫度四十度八 昨年との比 高十七度一 高十一度八〇

## 營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館料理 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十五號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 高砂ホテル

料理 高砂亭 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）

旅館 竹村館 永世街二十二號 店主 麻田久二（電話五）

旅館 大和館 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豐濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

東京 生蕎麥 一式 東庵 元神廟（電話百五十九）

旅館料理 金城ホテル 永世街百六十六號

第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 醉花園

旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街

さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

御料理 柳亭 叮嚀專一 豐濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理並ニ溫泉 一力 營口永世街 店主 堀万助 毎日新湯

和洋料理 松月亭 本店 營口元神廟街一四三号

和洋料理御旅館 滿洲ホテル 支店 遼陽西街西門一一七号

## 遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 營口ホテル支店 主任 井上源吉

御料理會席 菊水館 主任 朝枝團捷

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 御料理 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

一和洋御料理 遼東館 遼陽城内東街

本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

## 奉天旅館料理屋案内

旅館 奉天館 奉天城内鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話號）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街北側（電話號）

旅館料理店 日の出樓 奉天小西門通（元紅葉館跡） 溫泉付大勉强キレーデヲイシヒ 樓主 大瀬七造（電話十七號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話號）

旅館料理店 梅松館 奉天城内东市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話號）

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館 大正館 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行

奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すべき樣に相成居候間御投宿の節至極便宜に御取扱可申上候以上 高砂館本店 奉天十間房第十五號

御旅館料理 奉高館 高砂館支店 奉天城外廿四號 店主 宇木智平

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街（電話號） 主任 藤島初野

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 勉強館 奉天小西關外北長發園隣

---

**撫順炭大販賣**

多少に不拘御用命被仰付度願上候

金城館販賣部

**特別室落成**

營口金城ホテル旅館部

藝妓仲居 新來

金城館料理部

奉天小西門外 會席御料理 高等御旅館 金城館

一關内外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候

一海關手續 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ事務取扱

一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱

一船舶貨物取扱

一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

**大清通運公司營口支店** 營口西北街第二七二號

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ぶも尚ほ不拂の御方は其姓名を揭げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也

營口旅館料理屋同業組合

歐米各國最新流行形

**西海洋服店** 永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

---

**新着の御知らせ**

東京より

蜂印香竄葡萄酒、羊羹、味付海苔、旅行用トランク、手提鞄、御婦人足袋、謄寫版、眞筆版、コツピープレス等

其他

雛立印白酒、寄木細工、漆器、陶器、金屏風等夫れ〳〵產地より着荷仕り候

新到

各種皮包、皮箱、文具格、畫掛、畫漆茶机、畫漆茶盤、金漆畫屏、金漆鏡臺、眞筆版、謄寫版、極上麝香水、蜂牌香竄葡萄酒、

營口 **加藤洋行**（電話八十番）

**飯塚工程局材料部** 營口元神廟前（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道產松大角材外種々

一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等

一日本石炭數種

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓

○上等日本米 一石に付 銀二十圓

○板材木 ○木炭

○亞鉛板 ○洋釘

○干塩魚 ○石灰

**喜久洋行** 永世街八十號（電話百五十二番）

御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也

大連 **東洋ホテル** 大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

發賣 標子 木板 料木

營口青堆子

**清水寧木局**（電話九十四番）

**故沖禎介**

追悼の爲め江湖諸賢より玉梓して一の紀念帖と爲したる詩歌書畫を編集し上より通知有之候就ては其紙數を一葉にても多からしめ以て存亡父子共の光榮を大ならしめ度く存候間廣く江湖の同情を得度廣告候也

一、刻版は四月中に取かゝる事と存候

一、紙判は美濃紙大

一、沖莊藏在沖繩縣那覇地方裁判所官舍

一、御問合の件あらは左に

新民府奈良崎八郎 營口瀛華學院上野政則

大清通運公司安田貞藏

同志友人敬白

**爲替券無効廣告**

清暦本年正月二十二日弊號は在阿什河和順昌に於て本年二月二十五日營口にて支拂ふべき爲替券即該號昌字十七號永記名下銀五千三百五十兩全十八號功記名下銀二千六百七十五兩の二通を買受け去る二十二日阿什河より合盛信局に托し送附の途中之を紛失せり依て直に該營口分號へ此由を説明し以后該券發見するとも無効に御坐候間此段廣告候也

營口 永同和主人啓

---

**爲替相場**（三月二十九日）

日本向 一百圓二十五錢（軍票百圓に付）

上海向 七十一兩二十五錢（同）

天津向 一百〇二圓五十錢（百弗に付）

芝罘向 [illegible]

**日本品最近物價表**

紙類 加藤洋行

一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢

一美濃紙 一〆 七圓五十錢

一[illegible] 六十錢

一全 二十枚續 三錢二厘以上四錢

一状袋 百枚 十三錢以上十八錢

室内裝飾品及寢具 矢野洋行

一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上十五圓

一座ブトン 十帖 六圓五十錢以上[illegible]

一疊 [illegible]

一薄縁 [illegible]

一麻緞通 二圓六十錢以上三圓

一綿緞通 十枚 八圓

一全 一疊敷 三圓

**本紙定價**

一枚ニ付 銀四仙

一ヶ月前金 銀八十仙

半年前金 四弗八十仙

一年前金 九弗六十仙

'MANCHURIA DAILY REPORT.'

Subscription 4 cts. a copy ... per month. ... per 3 month